



# 善光寺御開帳 参拝のしおり

善光寺前立本尊御開帳にお参りいただきありがとうございます。  
御開帳期間中は平常時と参拝方法が変わります。  
迷わずスムーズにお参りいただけるように  
しおりをご用意しましたので、ぜひお役立てください。



## え こうぼしり 回向柱

御開帳期間中、山門と本堂の間に1尺5寸角（各面45<sup>分</sup>幅）、高さ33尺（約10<sup>尺</sup>）の回向柱が建立されます。上部に巻かれた白い布は本堂で五色の糸へと変わり、さらには金糸となって前立本尊の右手中指につながります。そのため回向柱に触れることは、前立本尊に触れるのと同じ功德があるとされます。四面に書かれている梵字と漢文は、宇宙の構成要素である空、風、火、水、地を意味します。

※今回の御開帳では、新型コロナウイルス感染対策のため、回向柱に抗ウイルス効果のある光触媒コーティングを施しています。

## 安心・安全な善光寺御開帳ご参拝

安心・安全にご参拝いただくため、  
以下のご協力をお願いいたします。

- マスクの正しい着用をお願いいたします。
- 境内・室内各所にアルコール消毒を設置します。こまめな手指消毒をお願いいたします。
- 人と人との距離を確保していただき、ご参拝ください。
- 混雑時を避けた分散参拝にご協力ください。

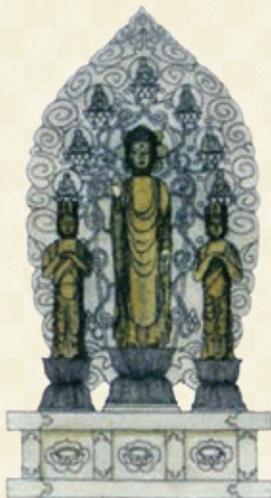
※密を避けるため、本堂内・各施設の入場制限を行う場合があります。予めご了承ください。  
※人と人との距離を保てるよう係員の指示に従ってご参拝ください。

まえだちほんぞん  
前立本尊参拝  
(内陣参拝)

善光寺本尊の一光三尊阿弥陀如来像はインドで姿を現し、百済へ渡り、欽明13(552)年に仏教とともに日本に渡ったと伝えられています。その約100年後に絶対秘仏となり、以降は誰も目にした人はいません。御開帳で姿を見せるのは分身仏である前立本尊で、ふだんは御宝庫に安置されています。七年に一度の御開帳の期間だけ内々陣に遷され、開帳されます。

右に観音菩薩、左に勢至菩薩、中央に阿弥陀如来が並んでいて、この形を一光三尊阿弥陀如来像といいます。御本尊は国の重要文化財に指定されています。

約150畳の広大な内陣の欄間には、極楽よりお迎えに来てくださる来迎二十五菩薩像が描かれています。



かいだん  
お戒壇巡り

お戒壇巡りも善光寺参拝の魅力の一つで、多くの方が結縁を求めて訪れます。内々陣の右側を通過して奥へ進むと入り口があり、階段を降りると回廊があります。暗闇の回廊を壁づたいに歩き、御本尊の下にある「極楽の錠前」を探します。錠前に触れると、御本尊と結縁されて極楽往生が約束されるといわれています。お戒壇内では右手腰の高さで壁を触りながらお進みください。



開館時間 内陣参拝、お戒壇巡りとも、お朝事の1時間前から午後5時まで

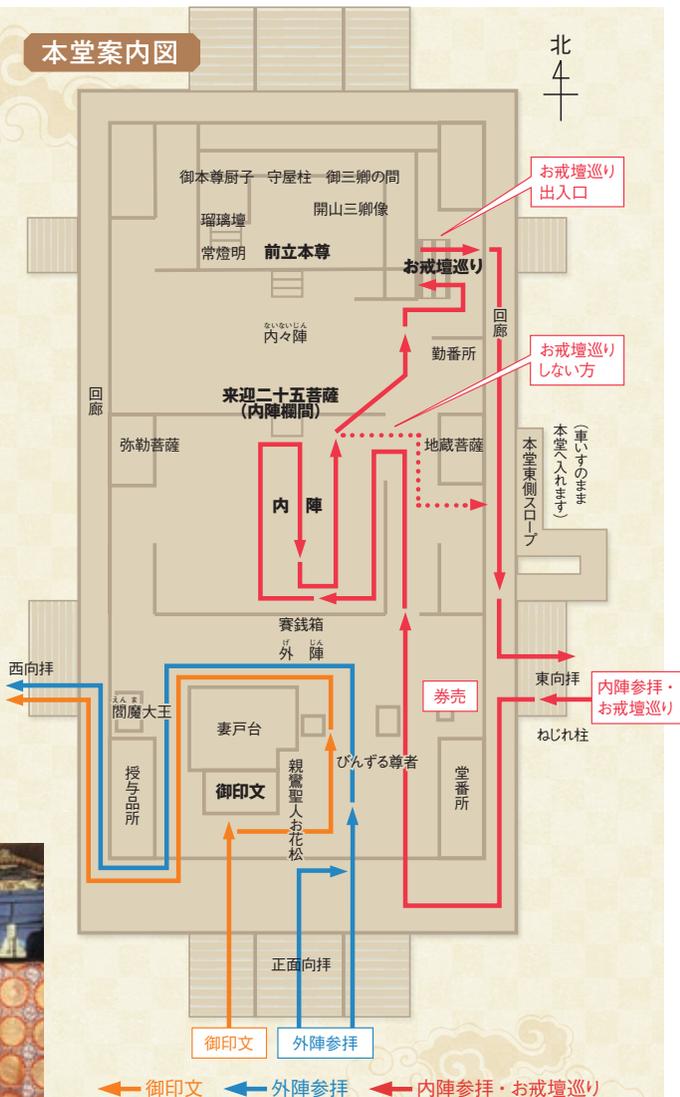
# ごいんもんちやうだい 御印文頂戴

御印文とは、御本尊と同じ閻浮壇金でできているといわれる宝印です。この御印文を僧侶から頭に押しあててもらう儀式が御印文頂戴で、お戒壇巡り同様、極楽往生が約束されるといわれています。ふだんは1月7日から15日のみ頂戴できるものですが、御開帳期間は特別に毎日、誰でも授けてもらえます。御印文には、牛王宝印、牛王唵印、往生決定印の三判があり、善光寺如来の分身といわれています。

**参拝時間** 午前8時30分から  
午後5時まで



## 本堂案内図



## 山門



江戸時代中期の寛延3(1750)年に建立され、国の重要文化財に指定されています。様式は五間三戸二階二重門、屋根は入母屋造りの翫葺で、高さ、間口とも約20メートルあります。老朽化により約40年間、2階への登楼参拝は中断されていましたが、「平成の大修理」によって平成20(2008)年から再開しています。2階には文殊菩薩騎獅像が安置され、「智慧の門」として受験生に人気。楼上から望む門前町の景色は壮観です。

**開館時間** 午前6時30分から午後8時まで

## 御朱印

本堂手前左側の御朱印所にて、御開帳期間限定の御朱印・御開帳記念色紙を頒布しています。

※新型コロナウイルス感染状況により、御朱印帳への帳面書きは見合わせ差し紙のみの対応となる場合があります。



御開帳限定の御朱印



御開帳限定の特別御朱印



※記念色紙はイメージです

御開帳記念色紙

## きょうぞう 経蔵

江戸時代を代表する経蔵建築として重要文化財に指定されています。宝暦9(1759)年の落慶、五間四方宝形造りで、内部には6771巻にもおよぶ鉄眼黄檗版一切経を納めた八角形の輪蔵があります。腕木を押して高さ約17尺、奥行約15尺、重さ約5トンの輪蔵を一回転させると、中の一切経をすべて読んだのと同じ功德が得られるといわれています。

**開館時間** 午前6時30分から午後5時まで



## 日本忠霊殿 (善光寺史料館)

戊辰戦争から第二次世界大戦にいたる240万余柱の戦没者をまつている、日本唯一の仏式による霊廟です。内陣には御本尊の分身仏である、関野聖雲作の一光三尊如来像が安置されています。併設の史料館には、仁王像の原型や羅漢像、かつて本堂に架けられていた奉納絵馬、グライ・ラマ法王14世が来寺された際に開眼された砂曼茶羅などを展示しています。

**開館時間** 午前6時30分から午後5時まで



# 善光寺境内のご案内



## ライトアップ

Topic

御開帳期間以外と同様、境内は夜間も自由に入場できます。期間中は日没から午後9時まで、本堂と回向柱がライトアップされ、日中とはまた異なる荘厳さが感じられます。